

6年(下)第3回 例題の解説

必修例題9

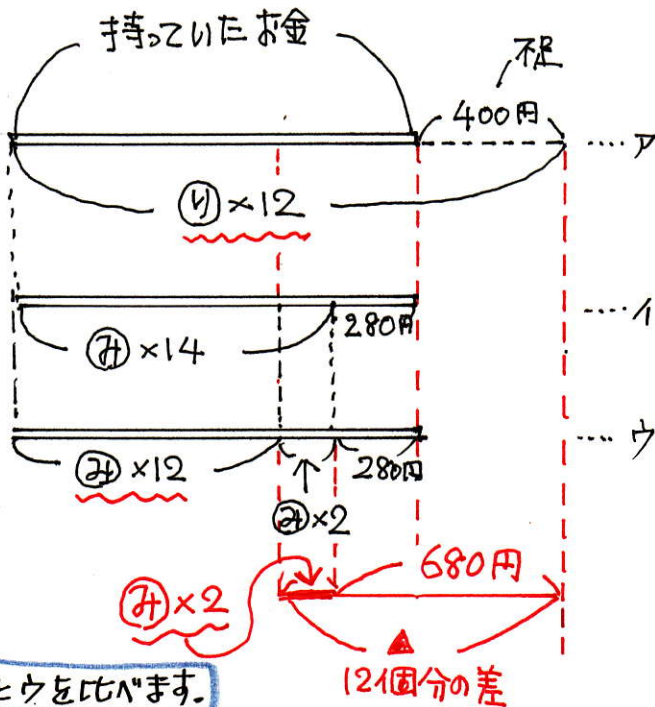
Aさんはくだもの買いに行きました。りんごを12個買うと400円不足し、りんごより70円安いみかんを買うと、14個買ったとき280円あまります。Aさんは何円持っていましたか。

(差集め算のポイント)

個数をそろえて、持っていたお金と基準に線分図を書きます。

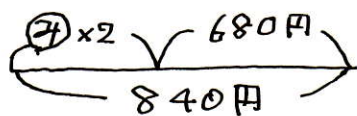


全体の差を調べ、それが1個の差のいくつ分になるかを考えます。



アとウを比べます。

1個の値段の差が70円より
12個の値段の差は $70 \times 12 = 840$ (円)



$$(2) \times 2 = 840 - 680$$

$$(2) = (840 - 680) \div 2 = 80 \text{ (円)}$$

より持っていたお金は

$$80 \times 14 + 280 = 1400 \text{ (円)}$$

1400円

(別解)

安い方のみかん1個の値段を①円とすると、
りんご1個の値段は①+70円

りんごを12個買ったときの代金は

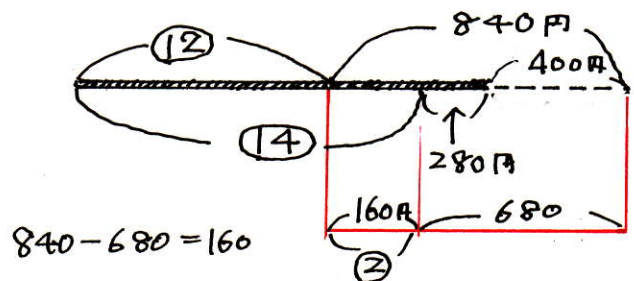
$$(\textcircled{1} + 70) \times 12 = \textcircled{12} + 840 \text{ 円}$$

↑
このとき400円不足

みかんを14個買ったときの代金は

$$\textcircled{14} \text{ 円です。}$$

↑
このとき280円あまる。



上の図より (2) が160円にあたるので

$$\textcircled{1} \text{ は } 80 \text{ 円}$$

持っていたお金は (14) + 280円より

$$80 \times 14 + 280 = 1400 \text{ (円)}$$